

桜宮中だより

令和元年5月10日
大阪市立桜宮中学校
5月号 No.4

10連休が明け、学校生活が再スタートしました。GW前に、本や新聞を読む時間、ニュースに触れる時間を作ってくださいとお願いしましたが、実践できたでしょうか。学力や人間力を高めるには効果的であることは前号でお知らせしました。ぜひ、習慣化してほしいと思います。

さて、5月1日に令和と元号が改元されました。この元号には「明日への希望とともに、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いが込められています。「令」には「よい、すぐれた、立派な」という意味があり、「和」には「仲よくすること。互いに相手を大切にし、協力し合う関係にあること。調和のとれていること。」という意味があります。今から1415年前、聖徳太子により作られた「十七条憲法」の第一条に「一に曰く、和を以て貴しと為し…」とあり、まとまりのある国造りのための「和」の重要性が示されています。

3年生は修学旅行、1年生は一泊移住を控え、学年や学級としてまとまりのある集団をつくっていかなければなりません。そこで、まとまりのある集団となれる5つの条件について紹介します。

【まとまりのある集団となれる5つの条件】

- ① 目的や目標を、そこに所属する人みんなが共有していること。
- ② 目的と目標を達成するために、お互いが助け合い、協力し、努力していること。
- ③ 集団として機能するために、役割の分担が定められていること。
- ④ 集団としての一定のルールがあること。
- ⑤ 仲間意識があること。

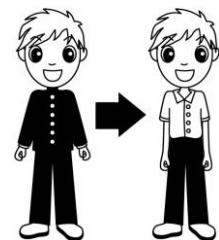
まとまりのない『集団』は『群れ』と呼び、ただの鳥合の衆です。集団としての力は発揮されず、一人ひとりの力も削がれ、何の成果もなく、嫌な思いだけが心に残ってしまいます。皆さん一人ひとりは、考え方、性格、特技、趣味、目標など、それぞれに違いはありますが、ぜひ、みんなで協力し、助け合いながら、まとまりのある『集団』へと成長してください。

3年修学旅行 5月18日（土）～20日（月） 沖縄県南城市

1年一泊移住 5月23日（木）・24日（金） 京都府宮津市

更衣準備期間 5月10日（金）～5月31日（金）

5月に入り、日中、初夏を思わすような暑い日が続いていますが、朝夕はまだ涼しく、寒暖の差の大きさから、体調を崩しやすい時期でもあります。今年度も、本日から月末まで、更衣準備期間としています。気温に合わせ、調整期間中の服装規定に従って服装を選択し、体調管理に気を付けてください。



名札のつけ忘れに気を付けてください。

『桜宮中学校地域クリーン活動』 5月12日（日）

今回は学校南西隣の「桜之宮東公園」の清掃活動です。

先月に続き、多くの皆さんの参加を待っています。

午前10時から清掃活動を始めますので、午前9時50分までに桜宮中学校・正門に集合してください。



第1回学校協議会報告

今年度の第1回学校協議会を5月8日（水）に開催しました。今年度の会長を決定し、桜宮中学校の「運営に関する計画」「校長戦略予算」について審議、決定しました。地域やPTAの代表の方々との意見交換をとおして、より良い学校づくりに、さらに取り組んでいきます。

「運営に関する計画」の詳細は、本校のホームページをご覧ください。

学校協議会委員

会長	松下喜代子	様	本校同窓会会长
副会長	栗田 昿一	様	東都島連合振興町会長
副会長	玉川 允敏	様	桜宮連合振興町会長
委員	森田 泰生	様	桜宮地区民生委員長
委員	森 博司	様	本校現PTA会長
委員	見浪 一敏	様	本校元PTA会長
委員	後藤恵似子	様	本校元PTA副会長
委員	木浦 正春	様	学校元気アップコーディネーター

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を93%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査における「もし、いじめがあっても、先生たちは適切に対応してくれる」の項目について肯定的回率を前年度より上昇させる。
- 年度末の校内調査における「学校は楽しい」の項目について肯定的回率を80%以上にする。
- 年度末の校内調査における「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的回率を75%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校や地域でしっかりあいさつをしている」の項目について肯定的回率を前年度より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 年度末の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である持久走の平均の記録を、前年度より向上させる。
- 年度末の授業アンケートにおける「学習内容の習得」の平均得点を、前年度より向上させる。
- 年度末の校内調査における「先生たちは、授業をわかりやすくするために工夫している」の項目について肯定的回率を前年度より向上させる。

【その他】

- 年度末の校内調査における「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について肯定的回率を前年度より向上させる。
- 年度末の校内調査における「体育大会・文化祭などの行事で、わたしが力を発揮し活躍する場がある」の項目について肯定的回率を前年度より向上させる。